

すくすく園では、お子様が病気の回復期にお預かりしています。普段は元気いっぱいの子ども達も疲労で体調を崩すこともあります。ご家庭でもかかりやすい病気についての症状と正しい対応を知っていればあわてずに済みます。鳥取県中部感染症流行情報を参考にいただき、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底しながら病気に負けないように体調管理を心がけていきましょう。

鳥取県中部感染症流行情報

疾病名	第1週	第2週	第3週	第4週
インフルエンザ	×	×	×	×
感染性胃腸炎	○	△	△	△
水痘（水ぼうそう）	△	×	△	×
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	×	◎	×	×
手足口病	★	★	★	★
ヘルパンギーナ	○	◎	○	△
咽頭結膜熱	◎	△	△	×
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	★	★	★	★
流行性角結膜炎	△	△	×	△
マイコプラズマ肺炎	△	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×	×
RSウイルス感染症	◎	○	○	×

★警報発令中

◎流行している

△散発

○やや流行している

×患者発生極少又はなし

【お知らせ】

○手足口病警報が発令中です。

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。

熱がある
ときの
ホームケア

Point 1

手を触って
ふとんを調節

熱があるのに手足が冷たいときは、熱がまだ上がりきっていないサイン。寒さを感じやすいのでふとんをしっかりかけて温めます。逆に、手足がポカポカしているときは、ふとんを減らして汗をかかせないようにしましょう。

Point 2

汗をかかせない、
汗を取り除く

汗をかくと体から水分が出ていくため脱水の原因にもなります。汗をかいてきたら薄着にしましょう。汗をそのままにしておくと、あせもやかゆみのもとに。熱が高く、お風呂に入る元気がないときは温かいタオルでふいてあげましょう。お風呂に入れるなら、湯冷めしないよう部屋を温めておき、ぬるめのお湯やシャワーでサッと洗ってあげましょう。



Point 3

おでこは
冷やさなくてもOK

熱があるときにおでこを冷やすと気持ちよいものですが、熱を下げる効果はそれほどありません。赤ちゃんは冷感シートやぬらしたタオルによる窒息の危険があるので、避けたほうがよいでしょう。熱を下げるには、首のわき、わきの下、足のつけ根など、太い血管の走っているところを冷やしてあげるのが効果的です。

